

環境うえだ

回覧

平成28年 7月1日号
生活環境部
生活環境課 (電話23-5120)
廃棄物対策課 (電話22-0666)

資源物の正しい分別にご協力ください！

市では、各自治会及びスーパー駐車場等におけるウィークエンドリサイクルで資源物回収を行っています。再生利用可能な資源物をきちんとリサイクルすることは、環境の保全につながります。

しかし、回収に立ち会う自治会役員の皆さんや業者が回収処理に困る事例もまだ多く見られます。

缶の出し方にご注意ください！

最近、缶の出し方についての問い合わせが多く寄せられています。そこで今回は缶の出し方の注意点についてご紹介したいと思います。

☆注意点

- ① 缶の中は**ゆすぐ・ふき取る**などしてきれいにしてください。(悪臭・虫等の発生防止のため)
- ② **胴巻紙**は取り外してください。
- ③ コーヒー等の**ボトル缶のキャップ**は燃やせないごみとして出してください。
- ④ **口の広いスチール缶**(ミルク缶など)は、口をつぶしてふさいでください。



雑がみも大切なリサイクル資源です！

雑がみ袋の配布以来、雑がみ類のリサイクルは確実に増えていますが、クリーンセンターに搬入される可燃ごみの中にはリサイクル可能な紙類がまだ多く含まれています。菓子やティッシュ等の箱、はがきや封筒などの小さな紙片(雑がみ)も分別すれば、資源物として出せます。

◎雑がみとは・・・空き箱、トイレトペーパーやラップ等の芯、包装紙、ダイレクトメール、カレンダー、ポスター、メモ用紙、コピー用紙、はがき、封筒などのことです。

◎次のものは雑がみではありません。・・・**燃やせるごみ**に出してください。
カーボン紙、金紙・銀紙(金属箔押し)、FAX用紙・レシート用紙などの感熱紙、破いた時にビニールが伸びる紙(ビニールコーティング紙)、写真、米袋、内側が銀色の紙パック、匂いが残る洗剤や線香の箱、アイロンプリント用紙、シュレッダーにか



信州うえだ ごみ減量大作戦
「わけて(分別)!・へらして(減量化)!・いかそう(資源化)!」
～ あなたのひと手間 「ごみ」から「資源」に ～

(裏面も御覧ください)

オオキンケイギクを駆除しましょう！

オオキンケイギクをご存知ですか？

侵略的外来植物であるオオキンケイギクは、その旺盛な繁茂により生態系を破壊し、他の植物に悪影響を及ぼしており、環境省により、駆除すべき「**特定外来生物**」に指定されています。個人や事業所等の所有地で、このような植物が繁茂している場合は、**所有者の方が責任を持って**駆除していただきますようお願いいたします。

⚠ オオキンケイギクの特徴

オオキンケイギクは、多年草であり、根を張って増殖するうえ、種子でも増えます。ゆえに繁殖力が強いため、在来種と競争し、駆逐する事例が国内で見られています。

⚠ オオキンケイギクの見分け方

花びら…黄色い舌状花
下部は筒状で上部の一部が舌状に伸びている



キンケイギク(在来種)は、1年草ですので、越冬しません。花だけだと見間違え易いですが、冬でも同じ場所に葉が残っていれば「オオキンケイギク」です。根ごと抜いて駆除しましょう。

道路や河川などの公共施設で発見した場合は、それぞれの管理者、又は下記連絡先まで一報をお願いいたします。

その「におい」、「音」、ご近所に迷惑をかけていませんか！

「におい」、「音」の感じ方は、人それぞれです

最近、市役所に届けられる悪臭や騒音の苦情内容を見ると、住宅地での野焼きやピアノの音など、条例等による規制が難しい近隣住民による行為が増えています。

例えば、畑での野焼き、薪ストーブの煙、住宅街でのバーベキュー、柔軟剤の香りといった「におい」やピアノの音、チェーンソーの音、犬の鳴き声、深夜の住宅街でのしゃべり声、自動車の空ふかしといった「音」が、発生源として挙げられます。

一般的に「気にならない」、「大丈夫」と思われる「におい」や「音」でも、強さ、頻度、時間によっては、「悪臭」や「騒音」として感じられることがあります。

また、自分にとっては、「良いにおい」、「心地よい音」でも、近隣住民の方々に迷惑をかけていることも考えられます。

皆さんも、ご近所に一言声をかけるなど、周囲への思いやりを持って生活しましょう。



上田市役所(本庁)	生活環境課	23-5120
丸子地域自治センター	市民サービス課	42-1054
真田地域自治センター	市民サービス課	72-0154
武石地域自治センター	市民サービス課	85-2827